

沖縄でオスプレイ大事故！ 直ちに配備をやめろ！

防衛省は12月13日夜、沖縄県うるま市で普天間飛行場所属のMV22オスプレイが海上に不時着したと伝えました。機体は胴体と翼が分離し大破しました。いつかは起こるべき事故がとうとう発生したのです。

稲田防衛大臣は「自発的に着水した。墜落ではない」と見解を示しましたが、誰がどう見ようと「不時着」ではなく墜落と言った方が適切です。

安倍政権はかつて、オスプレイ配備に対して「安全宣言」を発しました。この「安全宣言」は一体何だったのでしょうか？普天間飛行場のオスプレイは、静岡県御殿場市キャンプ富士、山口県岩国基地、東京都横田基地、神奈川県厚木基地にも飛来しています。沖縄のみならず、本州においても事故のリスクはあり得ます。

私たちは、オスプレイを国内から全て撤退するように訴えます。そして、沖縄の仲間と連帯し、平和な社会を目指すために闘います。



前1時35分ごろ
琉球新報社提供

沖縄県名護市安部の海岸に近しい浅瀬に不時着し、大破した米海兵隊の新型輸送機MV22オスプレイ。14日午前1時35分ごろ

発見場所は、普天間飛行場移設先である名護市辺野古の米軍キャンプ・シユワフから数キロ離れた浅瀬。沖縄県は移設を巡り政府と激しく対立しており、翁長雄志知事は沖縄防衛局長らとの会談で「直ちにオスプレイの飛行

米軍側は、空中給油場に帰還しようとした機から給油を受ける訓が、陸地の上空で不具合が生じる事態を避けるため、浅瀬を選んだと説明した。

関連記事3、6面へ

米軍普天間飛行場（沖縄県宜野湾市）所属の新型輸送機オスプレイ1機が不時着した事故で、機体は同県名護市の約800mの浅瀬で胴体と翼が分離し大破した。共同通信が14日、上空から確認した。稲田防衛相はマルティネス在日米軍司令官に対し、安全が確認されるまでのオスプレイ飛行停止を要請、米側は当面飛行停止する考えを日本側に伝えた。

オスプレイ浅瀬で大破

米軍、当面飛行を停止

沖縄沖

2016年12月14日
『静岡新聞』夕刊